# 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会

（平成30年度第2回協議会）

# 資　料　編

# －　目　　次　－

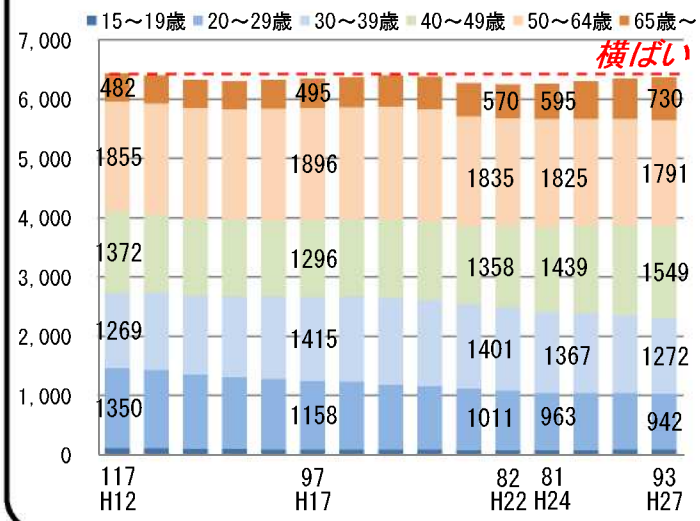

| | | |
|---|---|---|
| 資料１ | 建設分野の担い手の現状 | 3ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料２ | 鳥取県の公共事業費と建設労働者数の将来推計 | 4ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料３ | 県内就職と高校募集定員の動向 | 5ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料４ | 高校生の建設産業への就職状況 | 6ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料５-1～4 | 建設産業の求人(需要)と求職(供給)の状況 | 7～10ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料６ | 公共工事設計労務単価の推移（主要10職種） | 11ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料７ | 建設技能労働者の離職原因・賃金水準等 | 12ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料８ | 若手技能労働者が定着しない主な原因 | 13ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料９ | 建設産業における離職状況 | 14ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料１０～１１ | 持続的な経済成長に向けた方向と建設産業の役割 | 15～16ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料１２ | 鳥取県担い手確保・育成連携協議会の方向性 | 17ﾍﾟｰｼﾞ |
| 資料１３-1～10 | これまでの取組による成果と課題について | 18～27ﾍﾟｰｼﾞ |

資料1

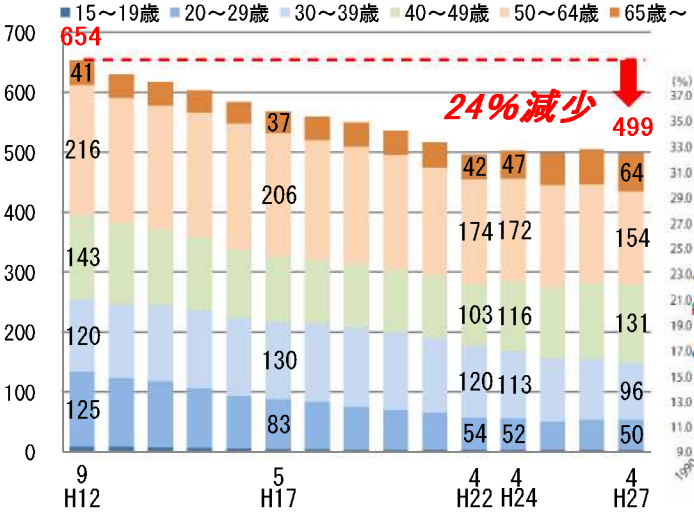
# 建設分野の担い手の現状 （全体数減少、高齢化、入職者減少）

## 全 国

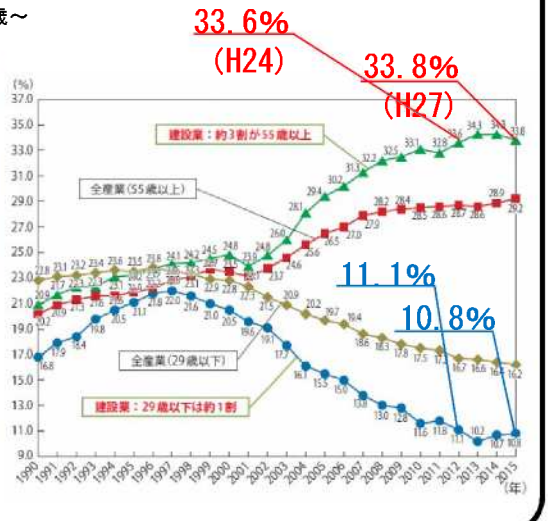
### 全産業の年齢別人口の推移




### 建設業の年齢別人口の推移

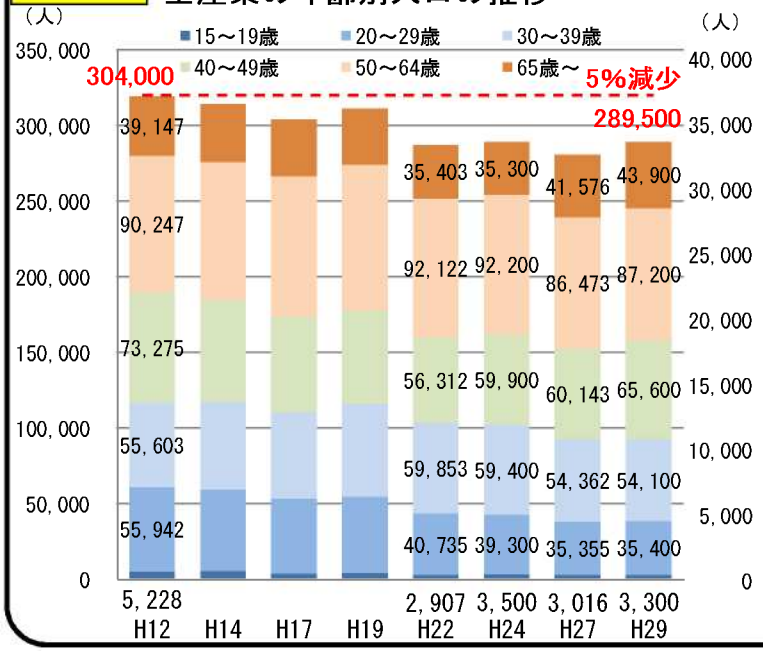



### 建設業における高齢化の進展・若手入職者の減少

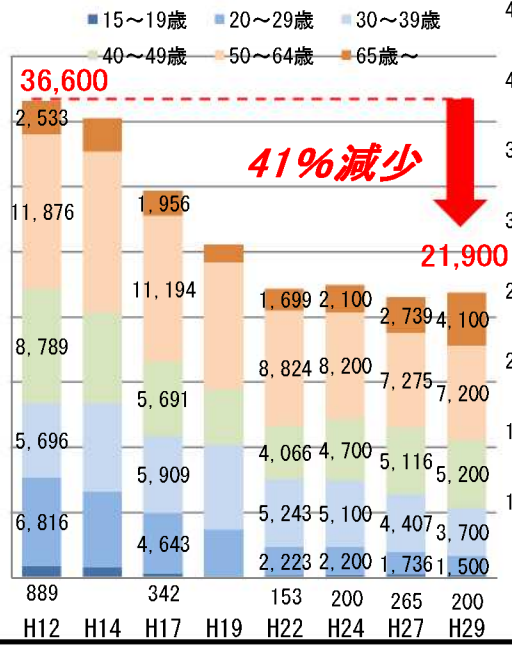



## 鳥取県

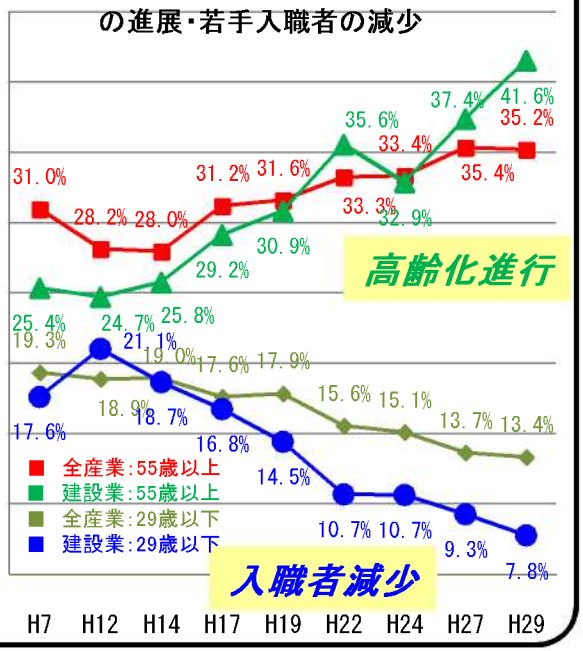
### 全産業の年齢別人口の推移




### 建設業の年齢別人口の推移




### 県内の建設業における高齢化の進展・若手入職者の減少



資料2

# 鳥取県の公共事業費と建設労働者数の将来推計

## 技能労働者数の現状と見通し

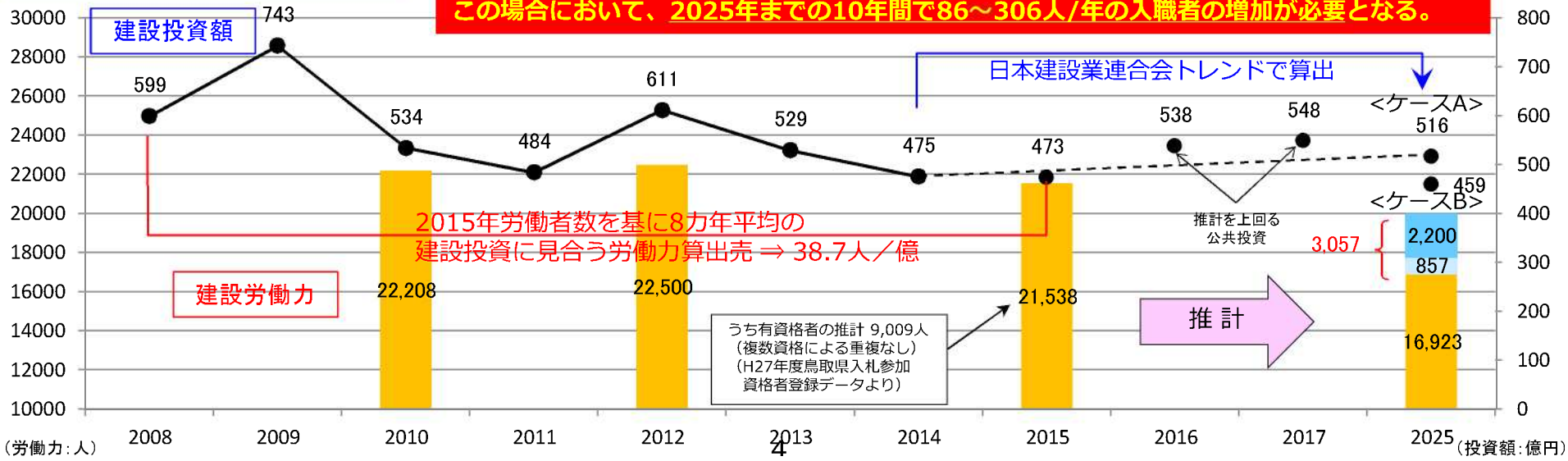
日本建設業連合会『再生と進化に向けて～建設業の長期ビジョン』

<ケースＡ> アベノミクスが着実に発現する場合（経済成長率が名目３％以上等を想定）
<ケースＢ> 経済成長が足許の潜在成長率並みの場合（経済成長率が名目１％台半ば等を想定）

※2014年までの技能労働者数は総務省『労働力調査』、建設投資額は国土交通省『建設投資見通し』より引用

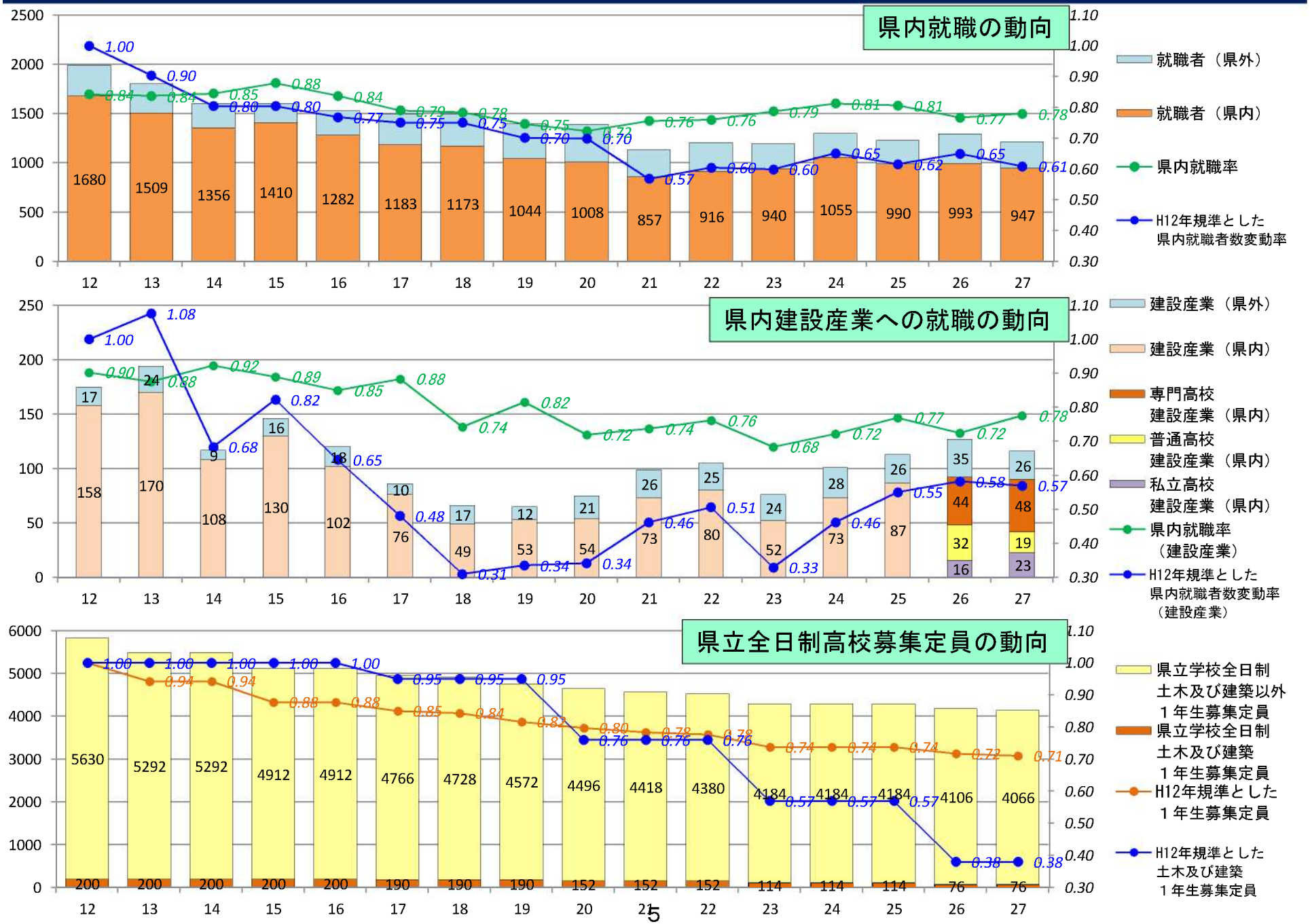
## 鳥取県の建設労働力の推計

**県内専門高校生の県内建設産業への入職者数が55人/年(近年推計値)を確保できた場合においても、2025年で857～3,057人不足すると推定。**
**この場合において、2025年までの10年間で86～306人/年の入職者の増加が必要となる。**



資料3

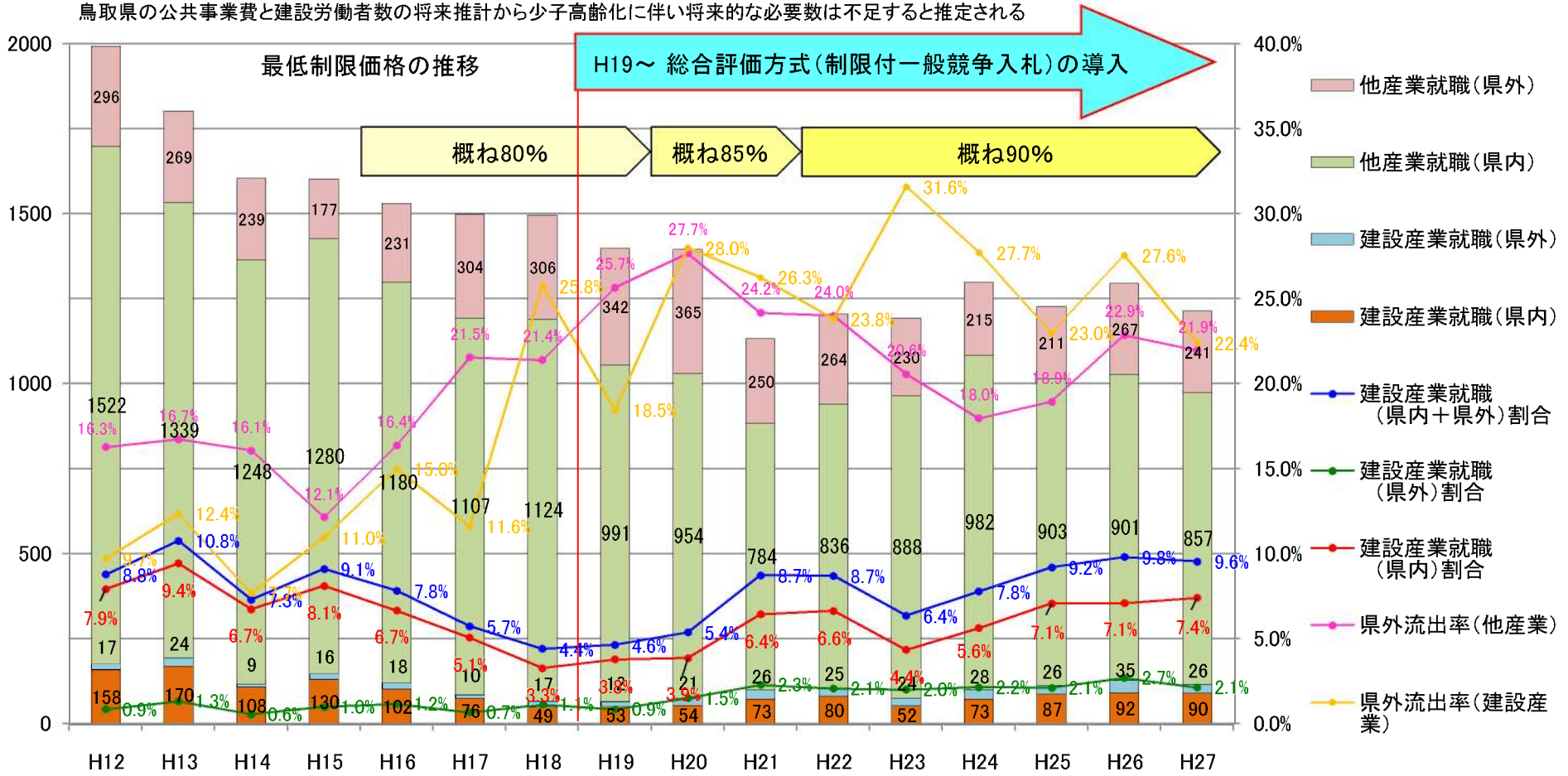
# 県内就職と高校募集定員の動向



資料4

# 高校生の建設産業への就職状況

（人）　最低制限価格の引き上げ等の施策により、高校生の県内就職割合や県外流出率は持ち直しつつあると思料されるが、鳥取県の公共事業費と建設労働者数の将来推計から少子高齢化に伴い将来的な必要数は不足すると推定される　（割合）



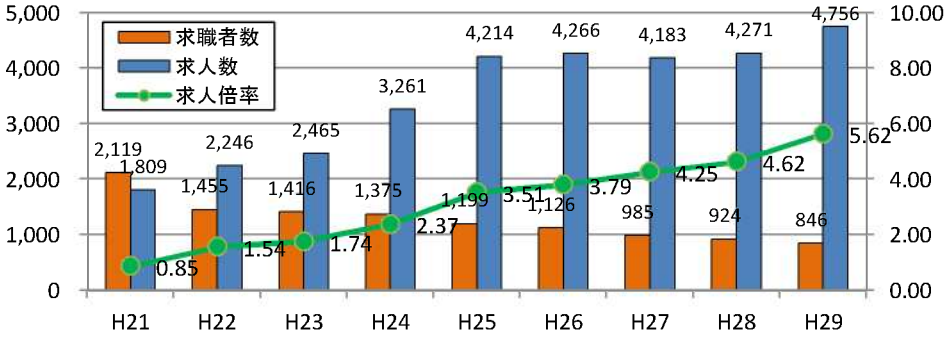

| 年度 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 他産業就職（県外）（人） | 296 | 269 | 239 | 177 | 231 | 304 | 306 | 342 | 365 | 250 | 264 | 230 | 215 | 211 | 267 | 241 |
| 他産業就職（県内）（人） | 1522 | 1339 | 1248 | 1280 | 1180 | 1107 | 1124 | 991 | 954 | 784 | 836 | 888 | 982 | 903 | 901 | 857 |
| 建設産業就職（県外）（人） | 17 | 24 | 9 | 16 | 18 | 10 | 17 | 12 | 21 | 26 | 25 | 24 | 28 | 26 | 35 | 26 |
| 建設産業就職（県内）（人） | 158 | 170 | 108 | 130 | 102 | 76 | 49 | 53 | 54 | 73 | 80 | 52 | 73 | 87 | 92 | 90 |
| 全就職者数（人） | 1993 | 1802 | 1604 | 1603 | 1531 | 1497 | 1496 | 1398 | 1394 | 1133 | 1205 | 1194 | 1298 | 1227 | 1295 | 1214 |
| 建設産業就職（県内＋県外）割合 | 8.8% | 10.8% | 7.3% | 9.1% | 7.8% | 5.7% | 4.4% | 4.6% | 5.4% | 8.7% | 8.7% | 6.4% | 7.8% | 9.2% | 9.8% | 9.6% |
| 建設産業就職（県外）割合 | 0.9% | 1.3% | 0.6% | 1.0% | 1.2% | 0.7% | 1.1% | 0.9% | 1.5% | 2.3% | 2.1% | 2.0% | 2.2% | 2.1% | 2.7% | 2.1% |
| 建設産業就職（県内）割合 | 7.9% | 9.4% | 6.7% | 8.1% | 6.7% | 5.1% | 3.3% | 3.8% | 3.9% | 6.4% | 6.6% | 4.4% | 5.6% | 7.1% | 7.1% | 7.4% |
| 県外流出率（他産業） | 16.3% | 16.7% | 16.1% | 12.1% | 16.4% | 21.5% | 21.4% | 25.7% | 27.7% | 24.2% | 24.0% | 20.6% | 18.0% | 18.9% | 22.9% | 21.9% |
| 県外流出率（建設産業） | 9.7% | 12.4% | 7.7% | 11.0% | 15.0% | 11.6% | 25.8% | 18.5% | 28.0% | 26.3% | 23.8% | 31.6% | 27.7% | 23.0% | 27.6% | 22.4% |

資料5-1

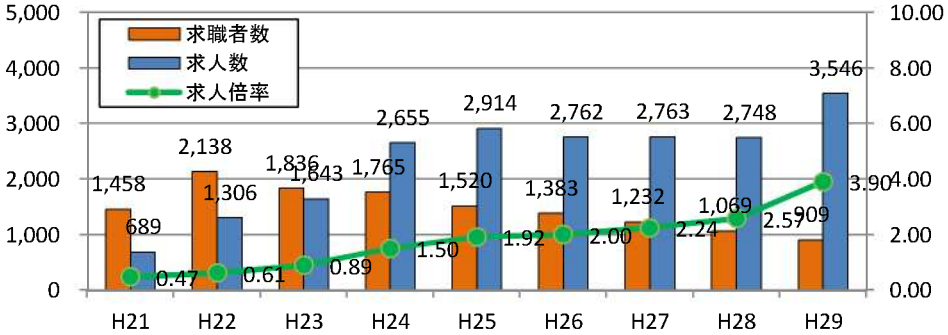
# 建設産業の求人（需要）と求職（供給）の状況

雇用人材総室「鳥取県の有効求人倍率等の推移と分析結果」より

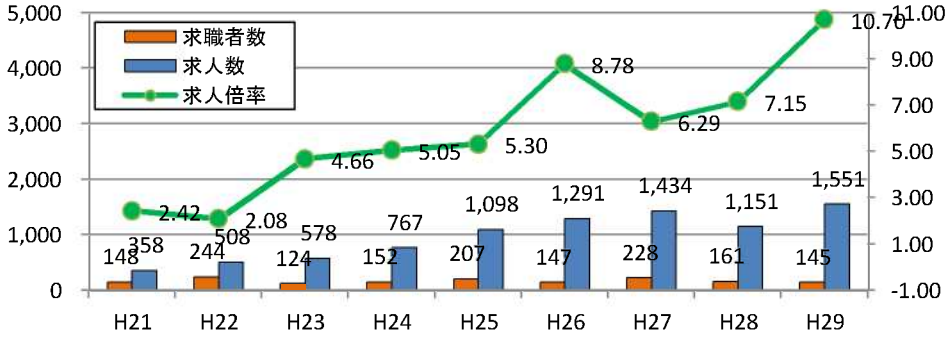
## ①建築・土木・測量技術者



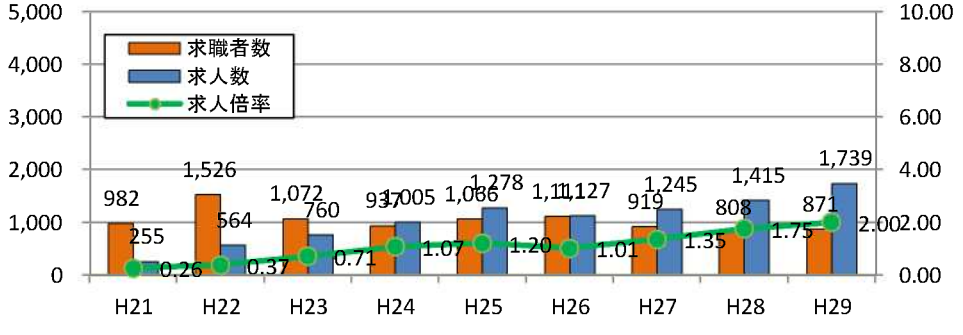

## ②土木作業員



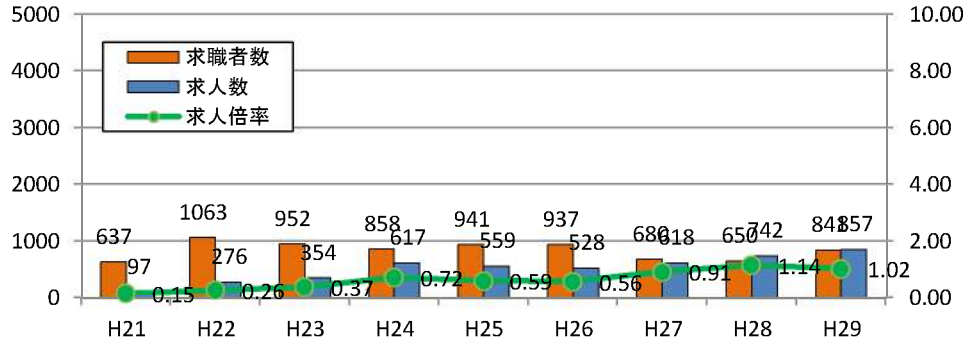

## ③建設躯体工事の職業（型枠大工、とび工、鉄筋工など）




## ④建設躯体工事以外の職業（大工、左官、畳工、内装工など）




## ⑤電気工事の職業




【データによる傾向】

・建築・土木・測量の技術者及び土木作業員の求人数は増加しているが、求職者数は減少。（H29は求人倍率3～5倍超え）

・躯体工事の職業の求人数は増加しているが、求職者数は150～200人の一定規模で推移。

・①～③の職種においては、増加する求人数に、求職者数が追いついていない。

・躯体工事以外の職業も、求人数が増加傾向にあるが、求職者数が減少。

・電気工事の職業では、求職者数が緩やかに減少しているが、求人数が不足している。

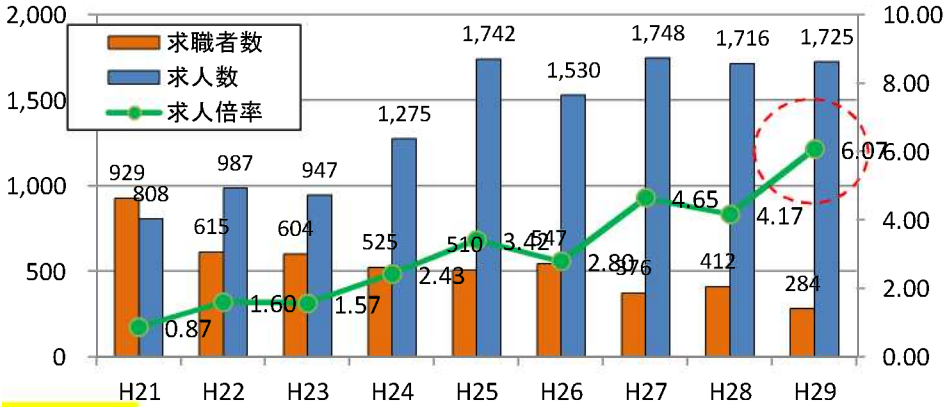
注1　：求人数、求職者数は、各年度（4月～3月）の月毎の集計値

資料5-2

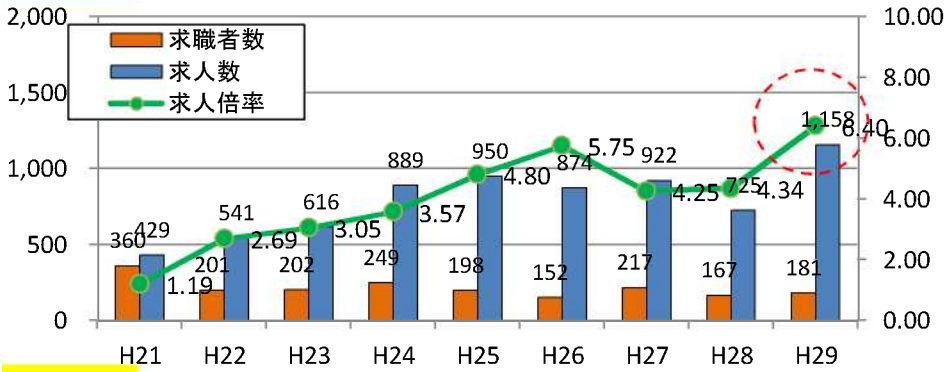
# 地域別の建設産業の求人(需要)と求職(供給)の状況 ～鳥取労働局 建設分野の就業紹介状況より～

## 建築・土木・測量技術者

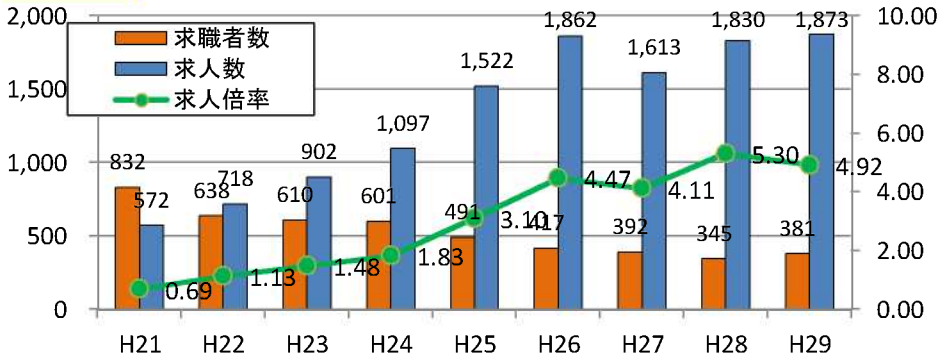
＜東部＞




＜中部＞

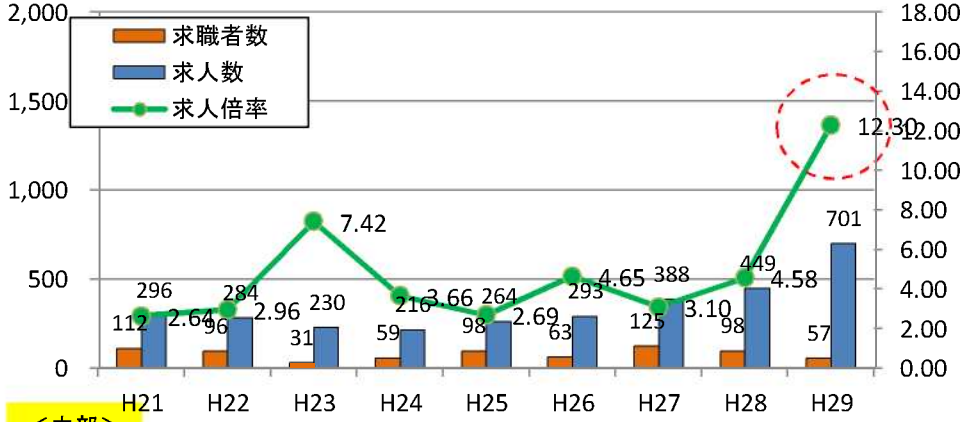



＜西部＞

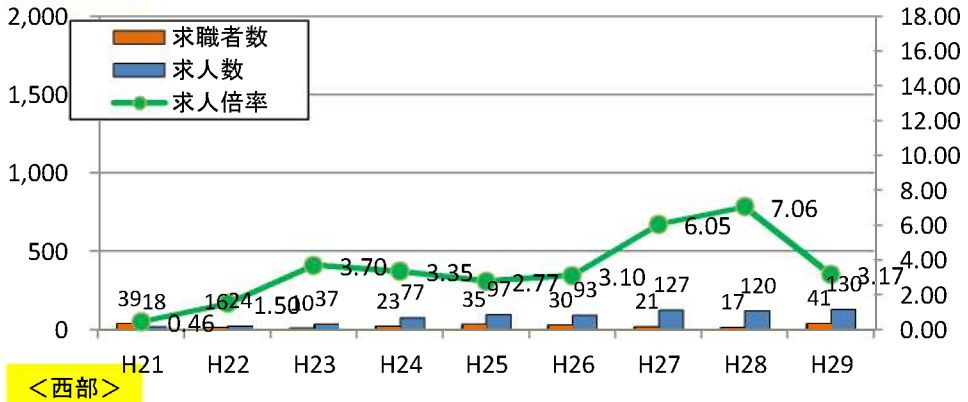



## 建設躯体工事の職業 ＊型枠大工、とび工、鉄筋工など

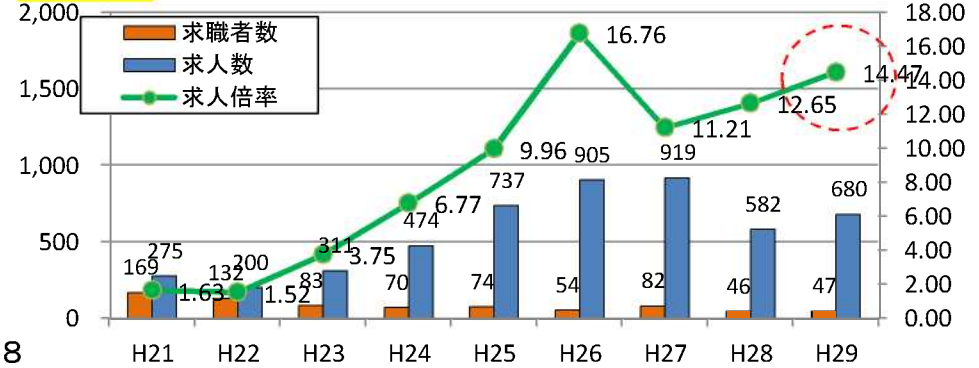
＜東部＞




＜中部＞



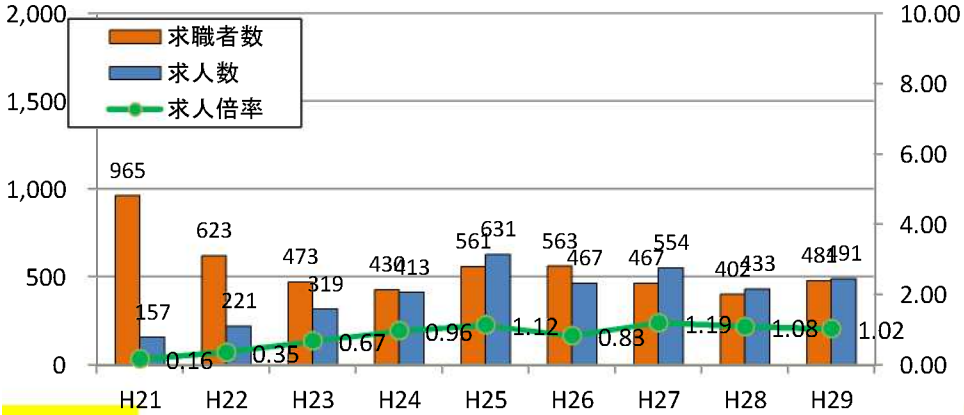

＜西部＞



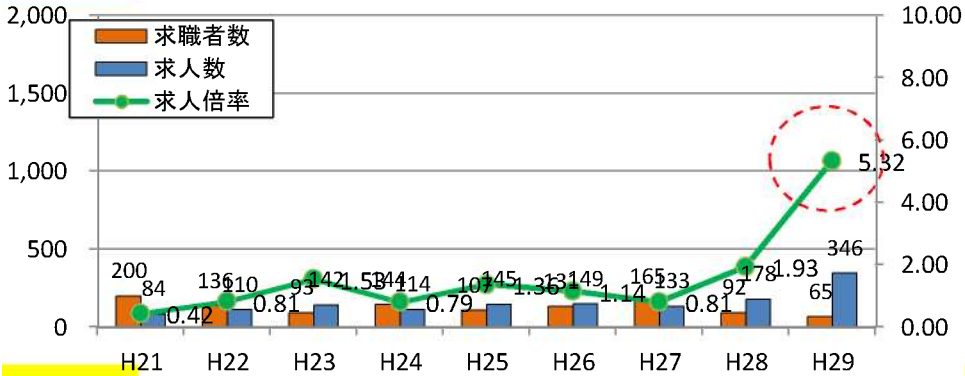
# 資料5-3　地域別の建設産業の求人（需要）と求職（供給）の状況　～鳥取労働局　建設分野の就業紹介状況より～

## 建設業の職業（建設躯体工事を除く）　＊大工、左官、畳工、内装工など

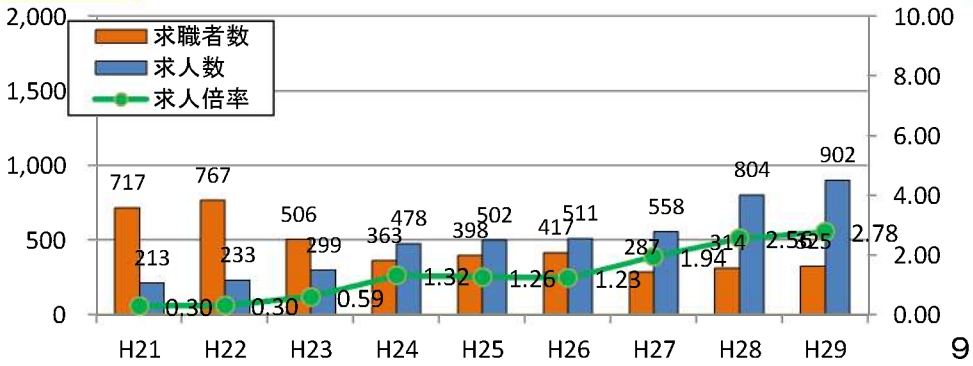
＜東部＞




＜中部＞

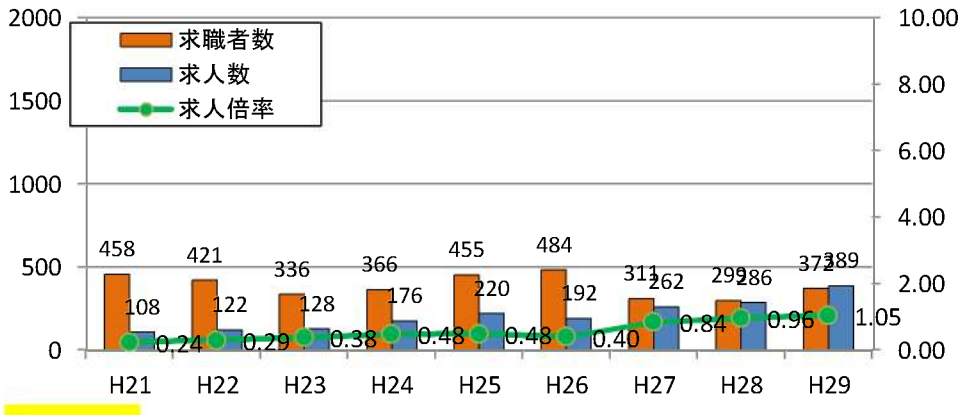



＜西部＞

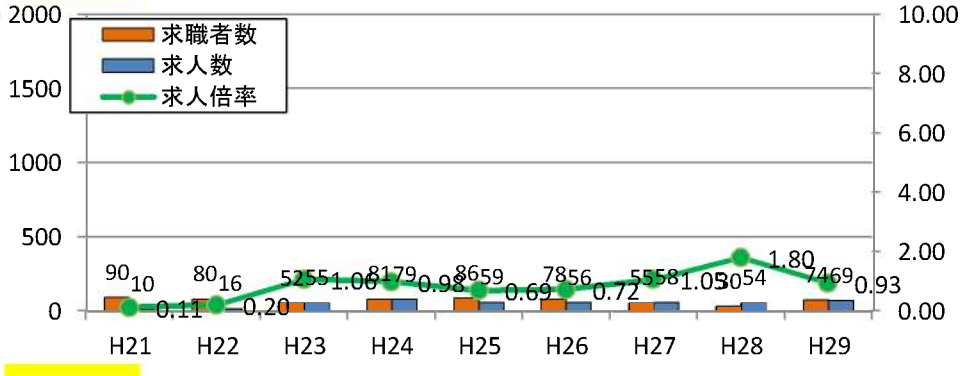



## 電気工事の職業

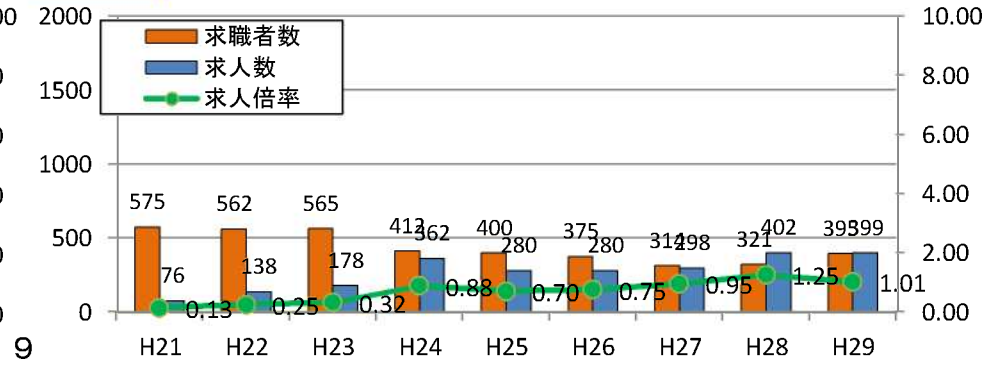
＜東部＞




＜中部＞



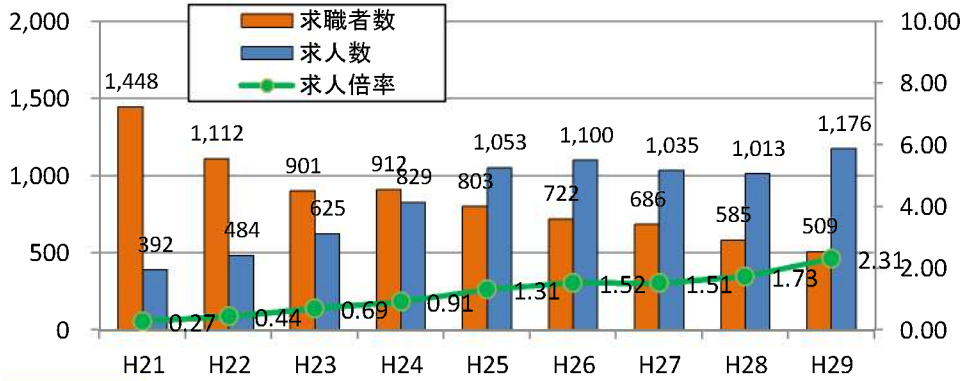

＜西部＞



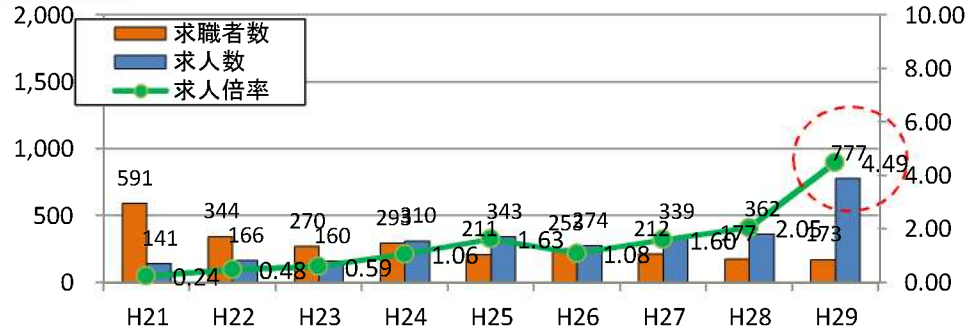
# 資料5-4　地域別の建設産業の求人（需要）と求職（供給）の状況　～鳥取労働局　建設分野の就業紹介状況より～

**土木の職業　＊土木作業員など**

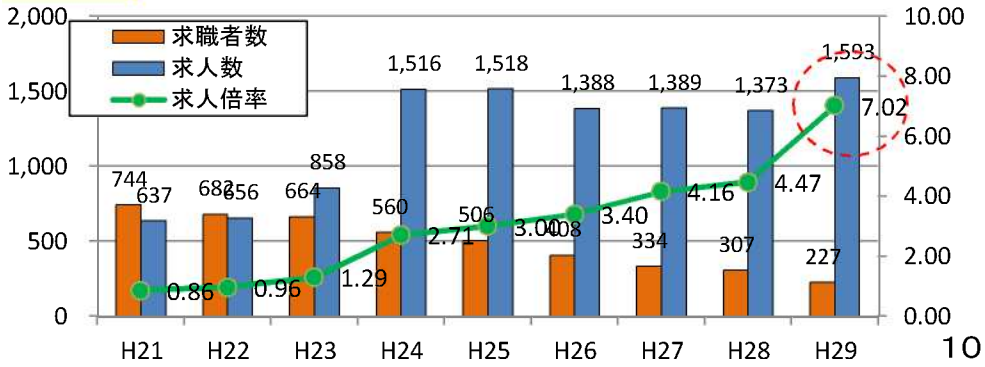
＜東部＞




＜中部＞




＜西部＞

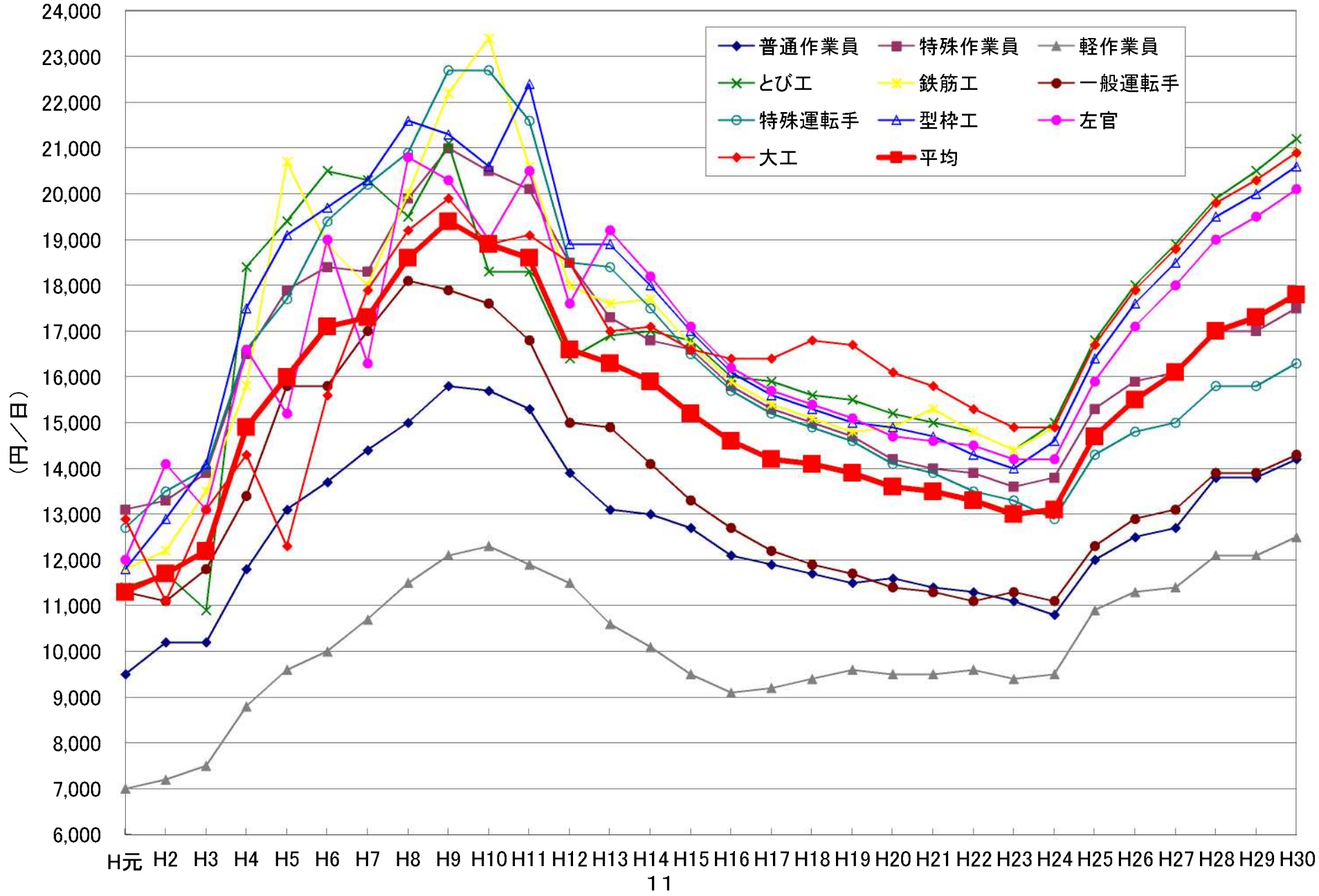



【データによる傾向】

- 技術者は県内全域で不足傾向にある。西部（求人倍率4.92）よりも東部（求人倍率6.07）、中部（求人倍率6.40）が不足傾向にある。
- 建設躯体工事の職業（型枠大工、とび工、鉄筋工など）は県内全域で不足傾向にある。特に東部（求人倍率12.30）、西部（求人倍率14.47）と著しく不足している。
- 建設業の職業（大工、左官、畳工、内装工など）は中部（求人倍率5.32）、西部（求人倍率2.78）で不足傾向にある。東部では概ね充足している。
- 電気工事の職業は東部、中部、西部ともに概ね充足している。
- 土木の職業（土木作業員など）は県内全域で不足傾向にある。東部（求人倍率2.31）よりも中部（求人倍率4.49）、西部（求人倍率7.02）が不足傾向にある。

資料6

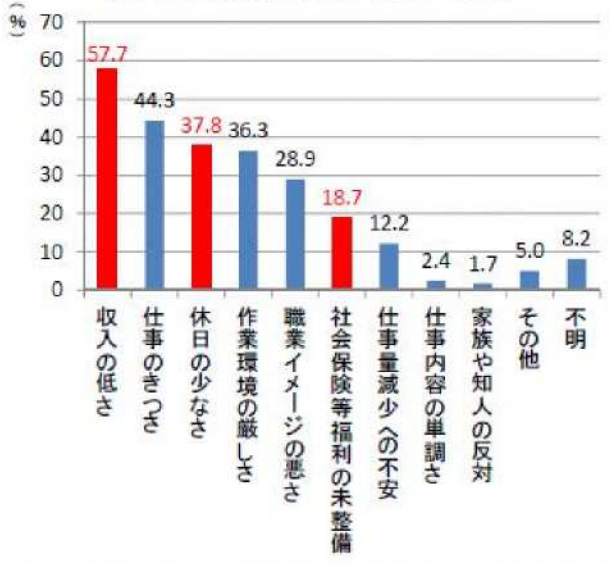
# 公共工事設計労務単価の推移（主要10職種）



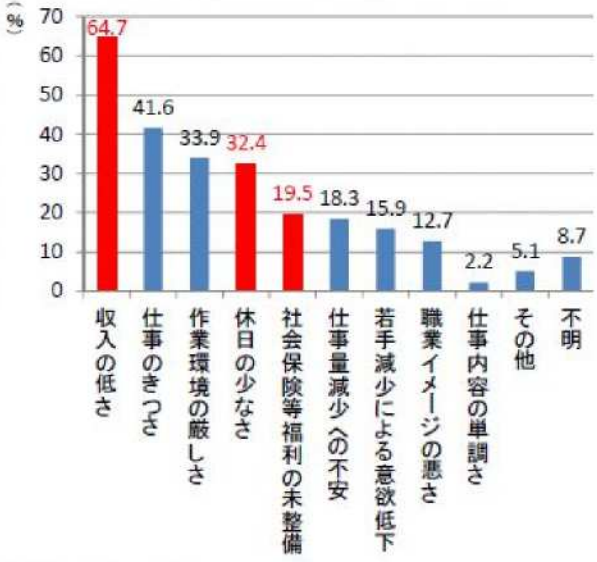
資料7

# 建設技能労働者の離職原因・賃金水準等

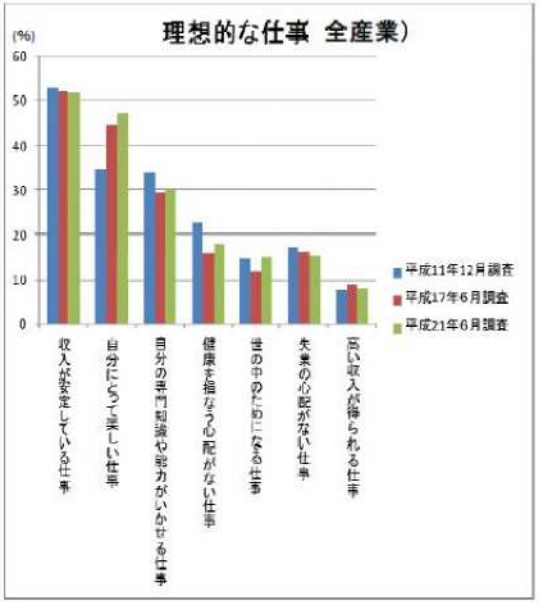
若手の建設技能労働者が入職しない原因




若手・中堅の建設技能労働者が離職する原因




(出典)建設産業専門団体連合会「建設技能労働力の確保に関する調査報告書」(平成19年3月)



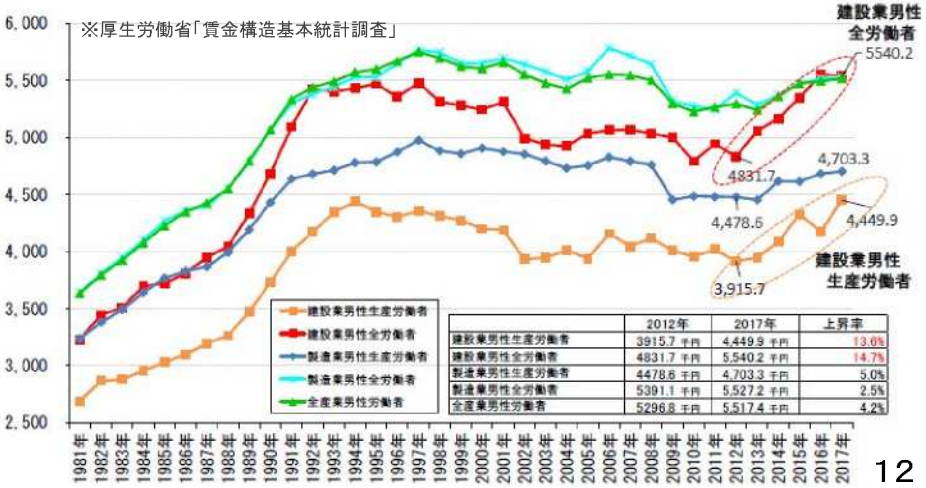

出所:内閣府「国民生活に関する世論調査」(平成21年8月)

●建設業の若年離職が多い原因は何だと考えられるか

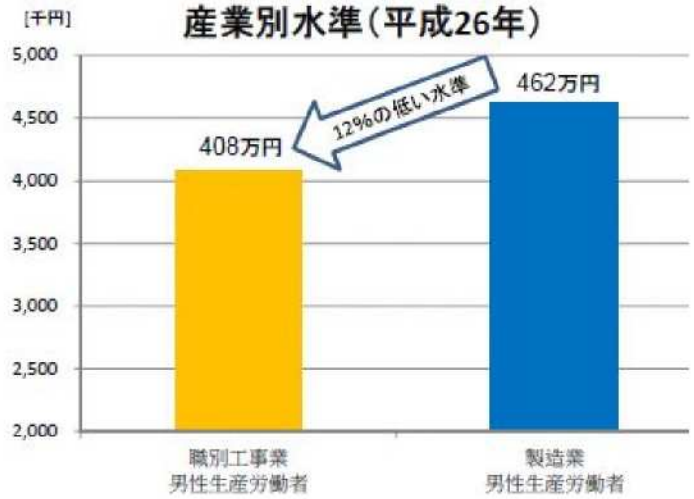
| 仕事への理解度の低さ | 土日出勤がある | 残業が多い | 給料が安い | 重労働である | 教えてくれる先輩がいない | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 40.6% | 56.9% | 53.3% | 53.3% | 31.5% | 19.8% | 17.8% |

※(一財)建設業振興基金
「工業高等学校における
建設業界への就職支援等
に関する実態調査H28.6」

建設業男性全労働者等の年間賃金総支給額の推移




年間賃金総支給額
産業別水準(平成26年)

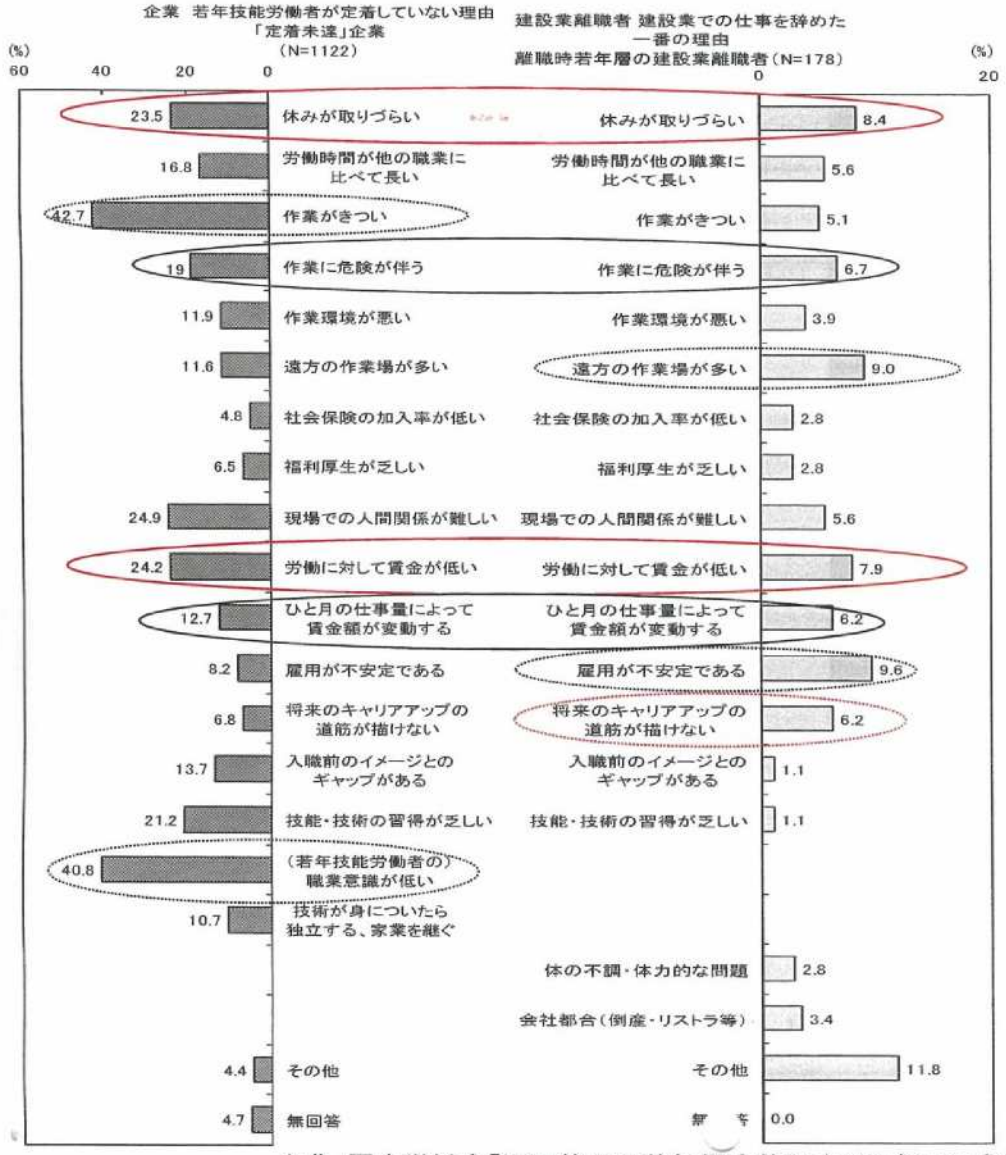



※国土交通省資料:厚生労働省「H27賃金構造基本統計調査」より試算

資料8

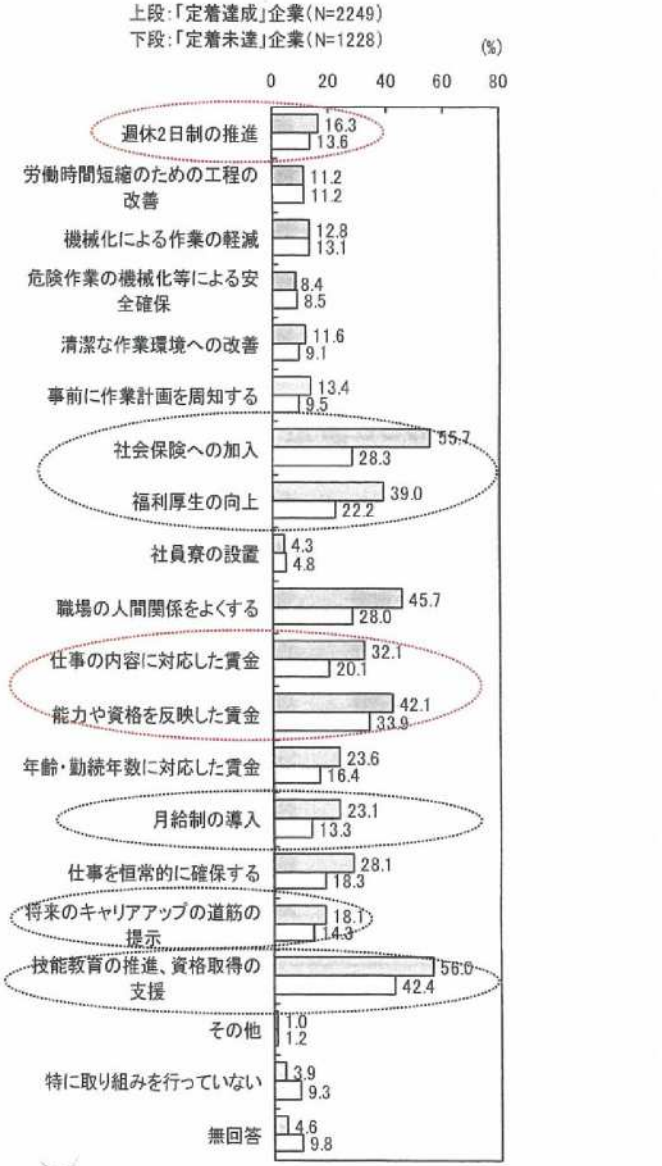
# 若手技能労働者が定着しない主な原因

■ 企業が考える若年技能労働者が定着しない理由（複数回答）／建設業離職者（離職時若年層）が仕事を辞めた一番の理由




出典：厚生労働省「雇用管理現状把握実態調査（平成24年度）」

■若年技能労働者を定着させるための取り組み（複数回答）

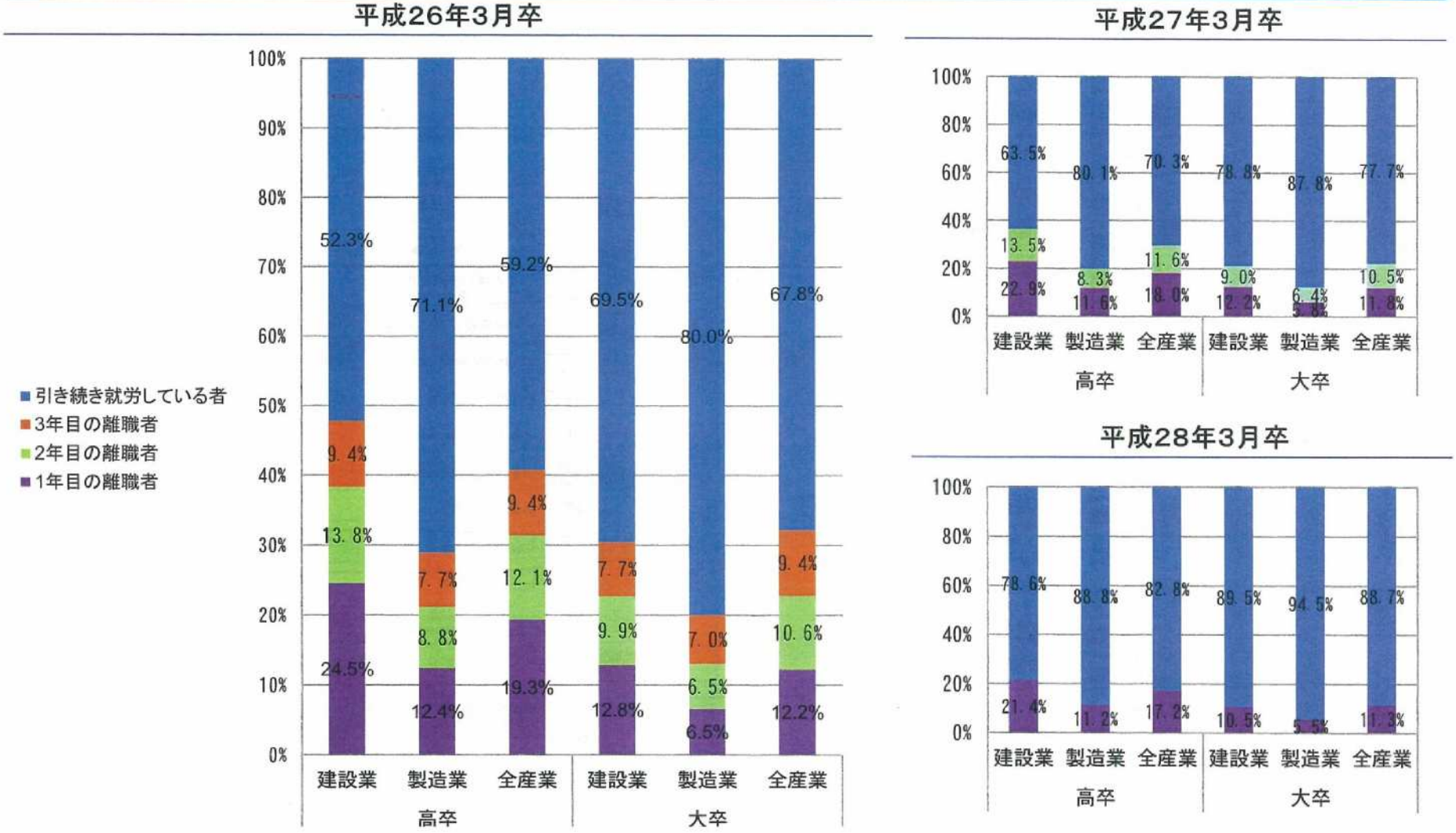



出典：厚生労働省「雇用管理現状把握実態調査（平成26年度）」

資料9

# 建設産業における離職状況（3年目までの離職率）

○ 建設業の離職率は他産業よりも高く、年々改善しているものの、特に1年目の割合が高くなっている。




出所：厚生労働省「新規高校卒業就職者の産業別離職状況」「新規大学卒業就職者の産業別離職状況」

※平成29年9月発表分のため、平成27年3月卒は3年目の離職者、平成28年3月卒は2,3年目の離職者が存在しない

資料10

# 持続的な経済成長に向けた方向と建設産業の役割 （鳥取県経済成長創造戦略より）

2010（H22） 鳥取県経済成長戦略（～H32）
・1人当たりの県民所得向上 ・新規雇用創出
・GDP700億円押上：年率1%成長（潜在成長率0.7%+戦略効果0.3%）

2013（H25） 鳥取県経済再生成長戦略
・生産ピラミッド崩壊後の県内製造業の再生

2014（H26）

2016（H28） 潜在成長率▲0.4%

2018（H30） 鳥取県経済成長創造戦略
・成長を持続できる産業構造の構築

2020（H32）

GDP1.93兆円

GDP1.96兆円
+310億円(44.3%)

生産年齢人口
325千人(2015)

GDP2兆円？
+700億円？

301千人▲8%

226千人(2040)
▲30%

人材不足が成長の足かせとなる危機

・人口減少、労働力不足、雇用ミスマッチ
・生産性の伸び悩み、潜在成長率の低下
・国内需要縮小、産業の国際的分業化

経済の質の変化
・インバウンド
・第4次産業革命
・暮らしの豊かさ追求

**潜在成長率 ＝（ 労働投入量 + 資本投入量 + 全要素生産性 ）**

持続的な成長のためには、減少する労働力に歯止めをかけ、生産性を向上させること

## 持続的成長に向けた基軸・・・・・業態別の産業成長と連携活用

| 新しい成長テーマ | ⇔ | プラットホーム | ⇔ | 地域資源活用 |
|---|---|---|---|---|
| ・ものづくり産業 ・ヘルスケア産業 ・医療産業 | | ・IoT産業 | | ・農林水産業 ・観光産業 |

高規格道路網の整備、国際航路の開設、港湾機能強化、定期貨客船運航、クルーズ船寄港増加
自然災害予防のインフラ整備、社会基盤のリダンダンシー確保

**建設産業による、安全安心な社会基盤と交通物流インフラがあるからこそ実現できる経済成長**

**共通目標 ：「建設産業が社会経済を支えていること」の再認識と対外的発信**

・地域に残すべき重要産業としての意識 ・他産業との競争に打ち勝つ ・教育施策としての反映
・経済成長戦略会議、正規雇用1万人会議等において、建設産業の役割と成長の方向性を発信

資料11

# 持続的な経済成長に向けた方向と建設産業の役割 （鳥取県経済成長創造戦略より）

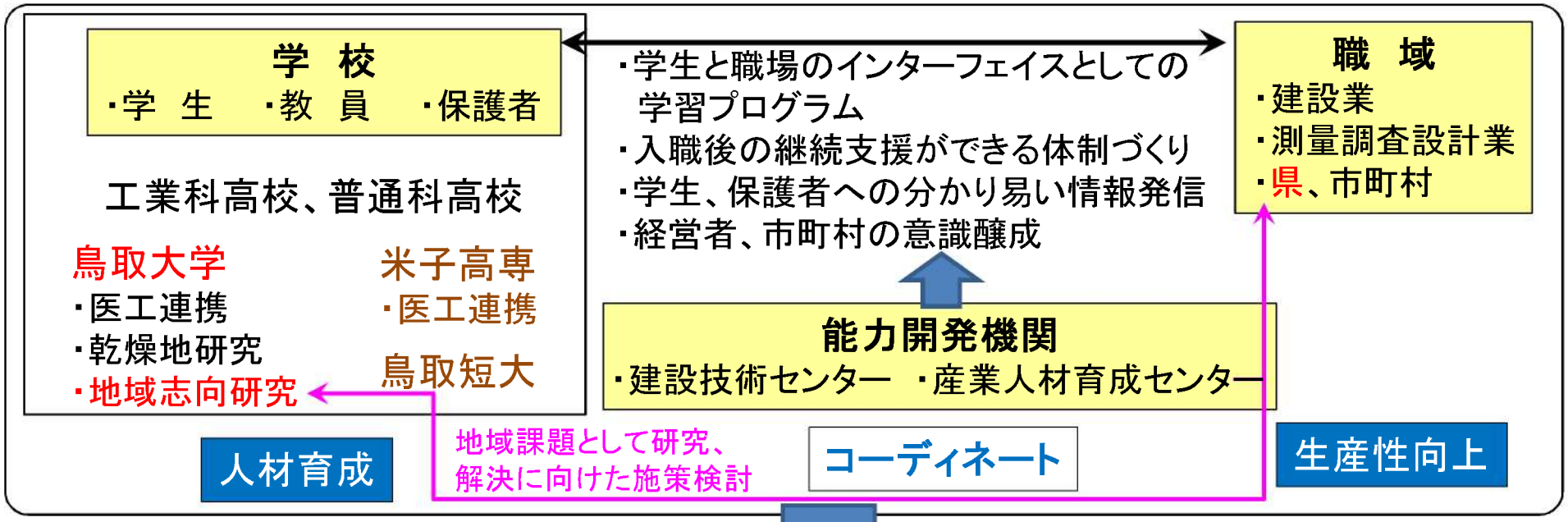
建設産業の機能不全により地域が保てなくなる懸念

・除雪体制の脆弱性　1.7人/回
・市町村の技術職員体制
・市町村の橋りょう点検診断の進度　　など

社会的認知度の再認識
・建設産業のポジション理解、普及

補うべき人材像とは（量と質）
・技術者、技能者、IoT技術

## 建設分野としての成長基軸




**災害発生時や除雪など、地域を支える建設業として必要なものは？**

**⇒　地域課題の解決を図る建設生産体制モデルの構築と実装**

【取組の方向】

**・業界として業態成長の意見を聴く仕組みづくり（建設業協会支部、測量設計業経営者）**

**・市町村首長への地域課題の解決に向けた取組の説明**

資料12

# 鳥取県担い手確保・育成連携協議会の方向性

**鳥取県経済成長創造戦略** ⇒ **建設産業を位置付け**

建設産業が「業態」として独自の役割と意義を示し、人材確保・育成、生産性向上を図りながら、地域経済発展のために持続的に成長していくには・・・

各構成員の独自の意見や固有の課題の抽出、業界や地域の実情の把握が必要

協議会が地域に入り込み、課題解決に向けた施策の展開を図る

| 目標設定 | 施策展開（案） | 試行モデル案 |
|---|---|---|
| 市町村の災害復旧や除雪業務等が自立できる建設産業の体制構築<br><br>市町村の公共施設総合管理計画策定後の具体のストックマネジメントの方策を支える建設産業の体制構築 | ・各構成員の役割の明確化<br>・地域ワーキング会議の開催<br>・町村首長との意見交換<br>・地域高校（シーズ）と業界（ニーズ）の連携ペアリング | ・地域の建設業協会と高校の連携による人材の確保・育成<br><br>・西部7町村での展開（強靱化計画策定の連携スキームを活用） |

資料13-1

# これまでの取組による成果と課題について

| 対象 | | 分野 | 研修内容等 | 取組成果、課題等 | | 時期 | 担当構成員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高校生 | 専門高校（建設系）<br>・鳥工<br>・倉農<br>・米工 | 魅力発信 | 魅力発信ガイダンス<br>講師：松谷孝広<br>（株）DOSUCO技術士事務所 代表取締役<br>講演「建設分野の魅力発信ガイダンス」<br>土木、建築両方の話ができる研修（進路決定のため）<br>・建設産業の役割 ・建設事業の流れ 等 | ・建設分野への関心を高めることができた。<br>・建設産業に就職してもよいと考える生徒が多い。<br>・建設分野への関心を高めることができた。<br>（建設産業の魅力発信に努める必要がある。）<br>・建設産業の魅力を感じる理由として、「やりがいがある」「ものづくりの楽しさ」が選ばれている。<br>・建設産業の役割（ｲﾝﾌﾗ、除雪等）はあまり知られていない。<br>（積極的なＰＲが求められる。）<br>・分析結果は昨年度と同様である。<br>⇒小中学校から建設産業への意識づくりが求められる。 | 鳥工<br>建設工学科<br>1年生37人 | 6月27日<br>11:00～<br>11:50 | 鳥取県技術ｾﾝﾀｰ |
| | | | 魅力発信ガイダンス<br>講師：鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会<br>講演「建設分野の魅力発信ガイダンス」<br>就職に魅力を感じられる研修<br>・建設産業の役割 ・建設事業の流れ 等 | | 倉農<br>環境科<br>1年生2人<br>2年生5人<br>3年生1人<br>食品科<br>1年生2人<br>生物科<br>2年生2人 | 6月13日<br>13:30～<br>14:15<br>14:25～<br>15:10 | |
| | | | 魅力発信ガイダンス | ・開催時期について多少建設について学んだ1年生の終りが良いと意見があった。<br>⇒建築は人気があり、土木ほどガイダンスの必要性を感じていないようだ。（教諭） | 米工<br>建設科<br>1年生 | H31.3頃 | |
| | | 技術力向上 | ＵＡＶ測量演習 | ・昨年と同様の研修希望<br>・ＵＡＶ飛行演習 ・写真判読講義<br>・図化処理講義 ・成果活用講義 | 鳥工<br>1年生37人 | 秋<br>50分×1 | 測協<br>鳥取県技術ｾﾝﾀｰ |
| | | | | ・昨年と同様の研修希望<br>・ＵＡＶ飛行演習 ・写真判読講義<br>・図化処理講義 ・成果活用講義 | 倉農<br>2年生 | 秋<br>45分×2 | |
| | | | | ⇒GIS測量を要望されており、内容の検討が必要 | 米工<br>2年生 | 秋 | |
| | | | 現場見学 | 建築：境漁港高度衛生管理型市場の上屋建築工事<br>土木：街路葭津和田町線の下部工工事<br>（共催：西部建設業協会） | 米工<br>1年生 | | |

資料13-2

# これまでの取組による成果と課題について

| 対象 | | 分野 | 研修内容等 | 取組成果、課題等 | | 時期 | 担当構成員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高校生 | 専門高校（建設系）<br>・鳥工<br>・倉農<br>・米工 | 技術力向上 | 鳥取県測量競技会（県） | 不参加 | 鳥工 | 11月頃 | 鳥取県技術センター |
| | | | | 参加予定 | 倉農2.3年生 | | |
| | | | | 参加予定 | 米工 | | |
| | | | （新）インターンシップ事前研修<br>・建設産業の役割と魅力　・現場の言葉　等 | 鳥工不要（時間を割けない）<br>米工は土木のみであれば可能 | 倉農<br>2年生13人 | 8月29日<br>45分×1 | 鳥取県技術センター |
| | | | インターンシップ（建協、測協、県） | 9月3日～7日（5日間）<br>9月11日～14日（4日間）<br>10月23日～10月25日（3日間） | 鳥工2年生<br>倉農2年生<br>米工2年生 | | 建協<br>測協<br>鳥取県 |
| | | | （新）社会資本維持管理の現状（橋梁）<br>コンクリート診断士会<br>奥村智洋 | 座学 | 鳥工2年生 | | |
| | | | | 座学 | 倉農3年生 | 12月10日 | |
| | | | | | 米工3年生 | | |
| | | 資格取得 | 測量士補資格取得支援<br>（H30.5.20受験）<br>講師：山村　憲章<br>岡山科学技術専門学校<br>測量環境工学科学科長<br>・過去問演習<br>済 | 合格0人（0/12人＝0%）<br>H29：14.3%<br>合格率全国平均　47.3%(H29)→33.6%（H30） | 鳥工<br>2年生8人<br>3年生4人 | 5月8日<br>5月11日<br>15:30～<br>17:30 | 鳥取県技術センター |
| | | | | 合格1人（1/5人＝20%）<br>H29：33.3% | 倉農<br>3年生5人 | 4月27日<br>5月11日<br>11:00～<br>12:40<br>45分×2 | |
| | | | | 合格1人（1/7人＝14%合格）<br>H29：66.7%<br><br>H31.5の支援も希望<br>（H31.2.14近畿測量専門学校） | 米工<br>土木コース<br>2年生19人 | 4月25日<br>5月9日<br>12:40～<br>15:30<br>50分×3 | |
| | | | 2級土木施工管理技士学科資格取得支援<br>（H30.10.28受験）<br>講師：鳥取県技術企画課<br>過去問編集：技術センター | | 鳥工<br>3年生 | | 鳥取県技術センター |
| | | | | | 米工<br>2年生16人<br>3年生8人＋2人 | 7月9日<br>9月10日<br>12:10～<br>14:30<br>50分×3 | |

資料13-3

# これまでの取組による成果と課題について

| 対象 | | 分野 | 研修内容等 | 取組成果、課題等 | | 時期 | 担当構成員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高校生 | 専門高校（建設系）<br>・鳥工<br>・倉農<br>・米工 | 地域課題研究 | （新）土木インフラ維持管理メンテナンス技術研修・見学（県）<br>・近未来の社会を支えるIOT等先端技術の最前線 | ・IOT等の先端技術がどのように活用されているのかを、建設産業を一つのモデルとして高校生に体験していただき、その魅力を感じていただけるシンポジウムを開催する。（県内全高校に案内）<br>とりぎん文化会館　12月<br>米子ビッグシップ　9月<br>主催：鳥取大学地域工学安全センター | | | |
| | 普通高校等 | 魅力発信 | （新）魅力発信ガイダンス<br>講師：松谷孝広<br>（株）DOSUCO技術士事務所 代表取締役<br>講演「建設分野の魅力発信ガイダンス」<br>就職に魅力を感じられる研修開催 | | 鳥取湖陵農業学科緑地システム科<br>2年生15名 | 9月13日<br>11:10～<br>12:00 | 鳥取県技術ｾﾝﾀｰ |
| | | | （新）インターンシップ<br>インターンシップ・コーディネート事業（教育委員会）<br>・普通科高校をモデル校に指定して、生徒、企業、学校のニーズに合ったプログラムを検討し、インターンシップを実施 | 中止<br>・モデル校：倉吉西10月，鳥取中央育英7月<br>・地元企業と連携してインターンシップを実施する。<br>・実施期間：2日程度<br>⇒高等学校課へ派遣先選定の要望したが、建設産業へのインターンシップは無 | | | 建協<br>測協<br>教育委員会 |
| 鳥取大学<br>工学部<br>土木システム工学科 | | 技術力向上 | リスクマネジメント講座<br>講師：松谷孝広<br>(株)DOSUCO技術士事務所代表取締役<br>リスクマネジメントの意義、未然防止活動と技術に絞った内容 | ・昨年と同様の内容 | 鳥取大学<br>3年生（70人） | 1月21日<br>13:00～<br>14:30 | 鳥取県技術ｾﾝﾀｰ |
| | | | （新）インターンシップ事前演習 | 中止<br>・インターンシップ希望者が3名となり大幅な減少<br>⇒例年の15%以下のため事前研修無し | 鳥取大学<br>3年生 | | |
| | | | インターンシップ（建協、測協、県） | | | | |
| | | | 現場見学会（県） | | | | |
| | | | 仕事説明会、合同企業説明会（県） | | | | |

資料13-4

# これまでの取組による成果と課題について

| 対象 | 分野 | 研修内容等 | 取組成果、課題等 | | 時期 | 担当構成員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 建設系既就労者 | 技術力向上 | （新）新入社員公共事業基礎研修<br>就職決定者の施工管理(積算.原価管理等)研修 | 米工希望 | 米工3年生 | 11.12月頃 | 鳥取県技術ｾﾝﾀｰ |
| | 資格取得支援 | （新）一級土木施工管理技士（実地）受験対策講座　受験日H30.10.7<br>講師：松谷孝広<br>（株）DOSUCO技術士事務所代表取締役 | H30年度1級学科合格者　11人（12人受験）<br>全国合格率　56.5% | 1級学科合格者20名程 | 9月13日<br>11:10～<br>12:00 | 建協<br>鳥取県<br>技術ｾﾝﾀｰ |
| | | ２級土木施工管理技士資格取得支援 | | | | 建協<br>鳥取県 |
| 小中学校生<br>一般県民 | 魅力発信 | 小中学校魅力発信講座（ｾﾝﾀｰ） | 中部（小学校：河北11月10日、西郷9月29日、<br>上北条5月27日　中学校：河北6月22日）<br>・身近なところでの仕事の話しは生徒の進路にもつながるのでありがたい。座学の講師の説明方法は難しい。<br>・社会の学習で輪中の人々の生活や治水のことを学んでいたので、タイムリーで良かった。また、上北条地区や河北、駅周辺の昔と現在、未来などの紹介があり、身近に感じられた。 | | | 技術ｾﾝﾀｰ |
| | | 土木遺産ツアー＆土木カフェ（県） | ・鳥取西道路工事現場(内海中常松トンネル)見学 | | 7月26日 | |
| | | ＳＮＳを活用した情報発信（協議会、県） | ・（新）技術者リレーインタビュー2人実施<br>・（新）建設産業で働く女性インタビュー2人実施<br>・（新）ザ・工事現場拝見 | | | 鳥取県<br>技術ｾﾝﾀｰ |
| | | （新）魅力発信Ｗｅｂ動画 | | | | |
| | | （新）魅力発信フォトコンテスト | 応募：　80作品 | | | 技術ｾﾝﾀｰ |
| | | （新）中学生職場体験学習 | 国府2人、桜ケ丘3人、八頭3人、倉吉東3人、<br>河北4人、後藤ケ丘3人、日野1人 | | | 鳥取県<br>技術ｾﾝﾀｰ |
| | | （新）建設系絵本読み聞かせ等 | ・建設系絵本の読み聞かせ、防災クイズ（1時間）<br>中部土木施工管理技士会（女性部）共同<br>西郷児童クラブみらい（21人）8月9日<br>上井児童センター（50人）8月27日<br>末恒なかよしクラブ（59人）10月5日<br>湯梨浜町立図書館　9月頃 | 学童クラブ、保育園等 | | 技術ｾﾝﾀｰ |

資料13-5

# これまでの取組による成果と課題について

## 1　新たな取組

### 専門高校（建設系）

インターンシップ事前研修　・建設産業の役割と魅力　・現場の言葉等　倉農2年生

社会資本維持管理の現状（橋梁）　座学　鳥工2年生、倉農3年生　橋梁点検現場体験　米工3年生

土木インフラ維持管理メンテナンス技術研修・見学（県）　「近未来の社会を支えるIOT等先端技術の最前線」（県内全高校）

### 普通高校等

魅力発信ガイダンス　鳥取湖陵農業学科緑地システム科2年生 15名

### 既就労者

一級土木施工管理技士（実地）受験対策講座（受験日H30.10.7）　19名

新入社員公共事業基礎研修 就職決定者の施工管理(積算.原価管理等)研修　米工3年生

### 小中学校生一般県民

魅力発信フォトコンテスト　小中学生応募 90作品　⇒表彰式:技術センターまつり　10月7日

中学生職場体験学習（中学2年生　工事現場見学、測量、ドローン操作、材料試験等）

鳥取県土 ・国府中2人 6月19日（火）～22日（金）　・桜ケ丘中3人 6月25日（月）～28日（木）
八頭県土 ・八頭中3人 5月15日（火）～18日（金）
中部県土 ・河北中2人 9月26日（水）～27日（木）
技術ｾﾝﾀｰ ・倉吉東中3人 9月26日（水）～28日（金）　・河北中2人 9月26日（水）～27日（木）
米子県土 ・後藤ケ丘中3人 7月10日（月）～13日（金）　・福米中2人 9月26日（水）～28日（金）
日野県土 ・日野中1人 7月2日（月）～6日（金）

建設系絵本読み聞かせ等　（中部土木施工管理議事会女性部と共同）

内容
・防災クイズ
・絵本「よわいかみ　つよいかたち」読み聞かせ
・よわいかみ　つよいかたちの実験

実施済
西郷児童クラブみらい（21人 1～6年）8月9日
上井児童センター（50人　1～6年）8月27日

感想
また来てほしい。
なぜ、形が変わるとたくさんのるのか。

## 2　中止となった取組

### 普通高校等

インターンシップ　⇒高等学校課へ派遣先選定の要望したが、建設産業へのインターンシップは無

### 鳥取大学

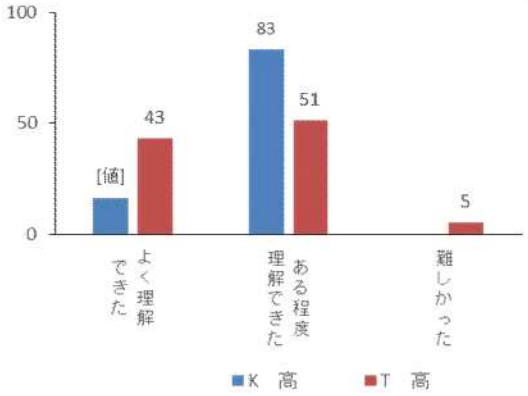
インターンシップ事前演習　インターンシップ希望者が3名と少ないため事前講座無

資料13-6

# これまでの取組による成果と課題について

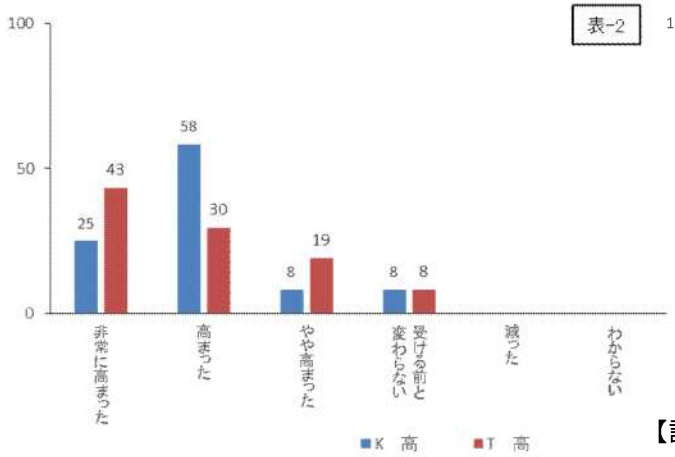
問1）ガイダンスの内容をどの程度理解できたか

表-1



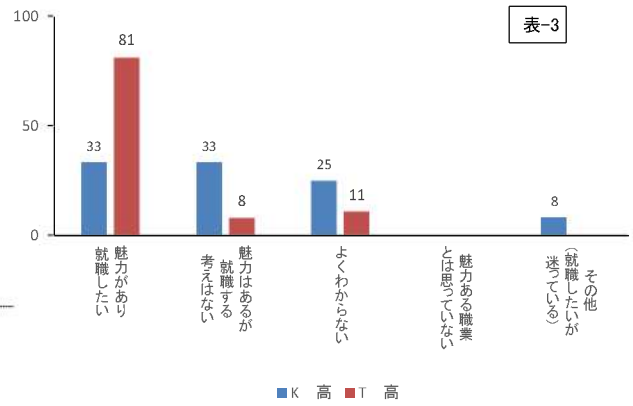

問2）ガイダンスを聞いて建設分野への関心が高まりましたか

表-2



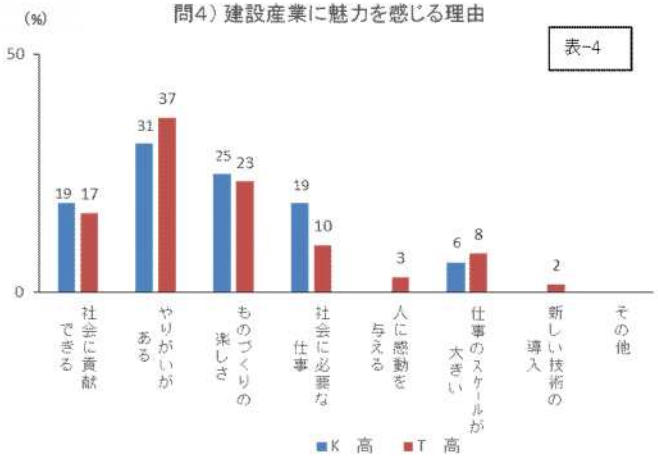

問3）建設産業についてあなたはどのように感じるか

表-3



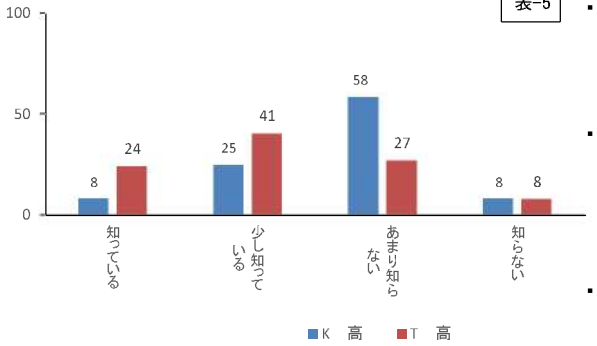

問4）建設産業に魅力を感じる理由

表-4




問6）建設産業の役割について知っているか

表-5




問7）印象に残った言葉（キーワード）

| K 高 | T高 |
|---|---|
| ・インフラ | ・インフラ |
| ・国土や地域の守り手 | ・人材不足 |
| ・測量の重要さ | ・社会にとってなくてはならない産業 |

【評 価】

・2高で実施したガイダンスの内容は好評で、生徒に建設分野への関心を高めることができた。 【表-1、表-2】

・建設産業に就職してもよいと考える生徒が多い。 【表-3】
（K高の環境科2・3年生は4/6が就職希望有り）
今後とも建設産業の魅力発信に努める必要がある。

・建設産業の魅力を感じる理由として 【表-4】
①やりがいがある
②ものづくりの楽しさ
が選ばれている。

・建設産業の役割（インフラ、除雪等）はあまり知られていない。 【表-5】
積極的なPRが求められる。

※ 分析結果は昨年度と同様である。
小中学校から建設産業への意識づくりが求められる。

備 考）

・受講生徒数
K高 ：12人（1年4人、2年7人、3年1人）
（環境科8人、食品科2名、生物科2名）
T高 ：37人（1年）

資料13-7

# これまでの取組による成果と課題について

小中学校魅力発信講座

上北条小学校5年生　5月27日

・とても貴重な体験でした。ていねいな説明（やさしく）ありがとうございました。
・丁度、社会の学習で輪中の人々の生活や治水のことを学んでいたので、タイムリーで良かった。また、上北条地区や河北、駅周辺の昔と現在、未来などの紹介があり、身近に感じられた。

河北中学校3年生　6月22日

・座学の講師の説明方法について・・・難しかったかも。
・中学生向きに話の内容を考えてほしい。地震の話は余分でした。
・パワーポイントが文字量が多すぎて何が書いてあるかわからなかった。１ページの文字や図の大きさを考えていただければもう少しわかりやすかったのかな？と思いました。身近なところでの仕事の話しは生徒の進路にもつながるのでありがたいです。
・対象学年を３年生より１年生の方が良かったのではないか？また進路について未確実な若年層の方が興味を持って取り組むのではないでしょうか？
・１７９号線ができて便利になった話しは大人ならすぐわかりますが、子供には旧道がどこかわからず理解できないのではないでしょうか？
・橋づくりやドローンの実演などの時間がもう少し長いほうが生徒達もよりじっくり取り組めてよいかと思いました。

中学生職場体験学習の取組状況（H30年度からの新規取組）

| 所局 | 学校名 | 生徒 | 日程 | 受入れ機関 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鳥取 | 国府中学校 | 2年生2名 | 6/19（火）～22（金）4日間　9～15時 | 鳥取県土 | H30新規 |
| | 桜ヶ丘中学校 | 2年生3名 | 6/25（月）～28（木）4日間　9～15時 | 鳥取県土 | H30新規 |
| 八頭 | 八頭中学校 | 2年生3名 | 5/15（火）～18（金）4日間　9～15時 | 八頭県土 | 過年度から実施 |
| 中部 | 東中学校 | 2年生3名 | 9/26（水）～28（金）3日間　9～15時 | 技術センター | H30新規 |
| | 河北中学校 | 2年生2名 | 9/26（水）～27（木）2日間　9～15時 | 中部県土 | H30新規 |
| | 河北中学校 | 2年生2名 | 9/26（水）～27（木）2日間　9～15時 | 技術センター | H29から実施 |
| 米子 | 後藤ヶ丘中学校 | 2年生3名 | 7/10（月）～13（金）4日間　9～15時 | 米子県土 | H30新規 |
| 日野 | 日野中学校 | 2年生1名 | 7/2（月）～6（金）5日間　9～15時 | 日野県土 | H30新規 |

生徒の感想
・建設は、周りの人たちの役に立ちたいという気持ちがないとできない仕事だと感じました。
・研修で学んだことを将来に活かしたいと思います。
・与えられたものに全力で取り組むことを学びました。
・普段なかなか目にすることのない現場を見学でき、将来のため良い体験になりました。
・初めてドローンを飛ばしてとても楽しかった。
・工事関係の仕事はよくわからなかったが、４日間の研修で少しずつ分かるようになっていきました。
・技術センターで安全に現場でコンクリートなどが使えるよう検査しているのが印象に残りました。

資料13-8

# これまでの取組による成果と課題について

## ＳＮＳを活用した情報発信

（新）技術者リレーインタビュー

・「見て覚えろ」という雰囲気の職場では、聞きたいことも聞けなくなり、自分の居場所がなくなってしまいます。
・あと５年位で熟練技術者が退職の時期を迎えるので、それまでに若手技術者が多く入職して欲しい。
・分からないことは「分からない。」と先輩に言う勇気を持って欲しい。
・現場では辛いこともありますが、出来たら楽しい、面白いに繋がり、仕事のやりがいになっていくので、前向きに頑張って欲しいと思います。

（新）建設産業で働く女性インタビュー

・建設産業は、休暇が少ない、休みにくい印象があり入職の妨げになっています。休暇制度を整えるだけではなく、休暇取得の実績を上げて働きやすい環境を目指しています。
・「入社後すぐに活躍したい」「会社の役に立ちたい」などの本人のやる気を継続させるため、計画的な資格取得の支援を行っています。
・中部に工業系の専門高校がなく、2級土木の資格取得にあたっての実務経験が短縮（4年6か月⇒3年）となる、指定学科にならないか。

## 建設系絵本読み聞かせ等

内容
1　防災クイズ
2　絵本「よわいかみ　つよいかたち」読み聞かせ
3　よわいかみ　つよいかたちの実験

対象
学童クラブ等
・授業時間を使わない
・1年～6年まで対象

（実施済）
西郷児童クラブみらい（21人　1～6年）8月9日
上井児童センター（50人　1～6年）8月27日予定
（実施予定）
末恒なかよしクラブ（59人　1.2.5.6年）10月5日
湯梨浜町立図書館　9月頃

感想等　・また来てほしい。　・橋や駅をつくるのは大工さんです。
・なぜ、形が変わるとたくさんのるのか。

資料13-9

# これまでの取組による成果と課題について

中部土木施工管理技士会女性会員と鳥取県建設技術センターとの意見交換会　6月8日

主な意見等
- 女性部としての取組は、魅力発信とネットワークづくりが主となる。魅力発信等できることを、センター、協議会とも連携し協力してやっていきたい。
- 本体である建設業協会が担い手育成のためあまり活動していない。（これからは育てていかないといけないと感じる。）
- Iターン、Uターンをもっと積極的に進めないといけない。
- 年配の経験者をもっと活用し、技術の伝承等うまくできるシステムが必要と思う。
- 若い人はどういう仕事をしたいかよりもどういう生き方をしたいかを選択する傾向がある。
- 小学校から担い手確保に向け地道に取り組んでいく必要がある。

小学生に絵本を読み聞かせ

担い手育成確保・連携協が

県建設分野担い手確保・育成連携協議会（山田和成会長）は27日、上井児童センターポプラ学級（倉吉市上井）で倉吉市立河北小学校1～6年生50人を対象に、防災クイズや建設業をテーマにした絵本の読み聞かせを行った。

絵本の読み聞かせは、地元の小学生に建設業の重要性やものづくりの楽しさを学んでもらおうと、今年から同協議会が計画。9日には既に、西郷小学校の児童にも同様の取り組みを行った。

また、今回からは、現場に携わっている建設業者の声を取り入れようと、中部土木施工管理技士会女性会の井中玉枝代表（井中組）や、川瀬香織氏（若松組）など4人の会員も参加。児童の側につき、絵本の読み聞かせをサポートした。

内容は、かこさとし著の「よわいかみ　つよいかたち」をはじめに児童らに読み聞かせ。その後実験として、実際に紙の枚数を増やしたり、折り方を変えることで紙が強くなり、10円玉がたくさん乗る様子を体験するというもの。実際に作った紙の強い形は、駅や橋などで応用されていることを説明し、ものづくりへの興味を誘った。

参加した児童からは「楽しかったので、また来てほしい」などの声があがっていた。

（鴨）

防災クイズ・絵本読み聞かせを行う会員

（建設工業新聞　8月29日掲載）

資料13-10

# これまでの取組による成果と課題について

建設分野の魅力発信ガイダンス　鳥工

測量士補資格取得支援　倉農

2級土木施工管理技士（学科）資格取得支援　米工

土木遺産ツアー＆土木カフェ　7月28日